

第13回教育研究審議会

議事概要

開催日:平成30年10月10日(水)

場 所:本部棟3階大会議室

出席者:福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、小林重雄理事、西尾理学学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、加藤敦子国文学科長、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、矢嶋亘総務課長、小宮文彦経営企画課長、澄川宏学生課長

欠席者:中地幸英文学科長、竹下勝雄地域交流研究センター長、市原学入学センター長

■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

議 事

- (1) 専任教員の採用について(提案)(地域社会学科)
 - ◇企業経営論
 - 担当から資料1に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。
- (2) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について(語学教育)
 - ◇英語 MLL
 - 担当から資料2-1、2-2に基づき説明。提案通り承認。
 - ・担当教員が11月1日付で退職するため。
- (3) 共通専門科目(情報)の科目改訂について(継続審議)
 - 担当から資料3に基づき説明。提案通り承認。
 - ・平成31年度から情報科目の名称や内容を改訂する。
 - ・数学免許状科目は再課程認定の関係で名称変更できないので同じ名称で開講する。
- (4) 都留文科大学学部・学科改編プラン8 国際教育学科改編について
 - 担当から資料4に基づき説明。提案通り承認。
 - ・来週の理事会・経営審議会で提案するので、それまでに意見があれば学長へ報告。
- (5) 新国際教育学科改編準備室規程について
 - 担当から資料5に基づき説明。提案通り承認。
 - ・教養学部国際教育学科に改編するための準備室を設置する。

- (6) 平成 31 年度都留文科大学の組織再編について
- 担当から資料 6-1 から 6-4 に基づき説明。提案通り承認。
 - ・新たな地域交流研究センターの再編（COC 推進機構を統合）に伴い、関係規程や規則、組織図を改正し、COC 推進機構運営会議要綱を廃止する。
→運営規定には地域貢献部門を追加。
 - ・国際交流センター等の管理者を経営企画課に変更。
- (7) 都留文科大学教育実習規程及び公立大学法人都留文科大学の授業料その他の料金に関する規程の一部を改正する規程（案）
- 担当から資料 7 に基づき説明。提案通り承認。
 - ・「専攻実習」、「選択実習」を「主免実習」、「副免実習」の文言に改める。また、教職課程のカリキュラム改正に伴い、31 年度以降の入学生の教育実習履修要件を変更する。
- (8) 都留文科大学の教員養成に対する理念・構想（4 学科）について
- 担当から資料 8 に基づき説明。提案通り承認。
 - ・教育職員免許法施行規則に基づき、4 学科の教員養成に対する理念・構想を公表する。
→不都合が生じたらその都度修正していく。
 - ・大学院については必要があれば対応する。
- (9) 平成 31 年度転専攻について
- 担当から資料 9 に基づき説明。提案通り承認。
- (10) 学生の懲戒処分について
- 担当から資料 10 に基づき説明。
 - ・処分は停学 1 ヶ月で但し書きをつけるのは認めがたいと教育研究審議会で判断したと学生委員会に報告する。懲戒処分については、理事会で決定する。
 - ・学生に対して社会奉仕活動をさせて罪を軽減するのは教育の場としてあってはならない。
 - ・2 回目の件の対象となる行為に、飲酒後時間を空けたので飲酒運転ではないとの発言があったことを追加する。

3 報 告

(1) 秋季オープンキャンパス速報値報告について

- 担当より資料 11 に基づき報告。
- ・今年度の参加者は 334 名で、そのほとんどが夏季 OC などに参加していない新規の参加者であった。

4 その他

- 担当から公立大学学長会議について報告。
- ・大学の設置目的が教育中心に変わっていくと思われる。

5 閉 会

以上